

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年12月6日 (2012.12.6)

【公表番号】特表2012-506861(P2012-506861A)

【公表日】平成24年3月22日 (2012.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2012-012

【出願番号】特願2011-533328(P2011-533328)

【国際特許分類】

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 K 9/20 (2006.01)

A 6 1 K 9/48 (2006.01)

A 6 1 K 9/02 (2006.01)

A 6 1 K 31/57 (2006.01)

A 6 1 K 31/4164 (2006.01)

A 6 1 K 31/4174 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 47/36

A 6 1 K 9/20

A 6 1 K 9/48

A 6 1 K 9/02

A 6 1 K 31/57

A 6 1 K 31/4164

A 6 1 K 31/4174

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月19日 (2012.10.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

脱分枝デンブunと治療薬とを含むペレットを含む腔内使用組成物。

【請求項 2】

腔坐薬、錠剤またはカプセル剤の形態である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記ペレットが、押出 / 球状化により調製される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記治療薬が、薬理活性物質である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記ペレットの調製中、前記治療薬が前記脱分枝デンブunと混ぜ合わせられる、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記治療薬が前記ペレットの表面上に堆積している、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記脱分枝デンブunが、高アミロースデンブunを用いて調製されたものである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記脱分枝デンプンが、プルラナーゼを用いて調製されたものである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記ペレットが経膈投与される、請求項 1 に記載の組成物。